

株主の皆さまへ

2017年度 中間期

2017年4月1日～2017年9月30日

目次

社長メッセージ	1
トピックス	3
業績ハイライト	5
連結財務諸表.....	6
会社概要	
大株主の状況・株主構成	
当社WEBサイトのご案内	7

みんなのATM。
みんなのセブン銀行



株式会社

セブン銀行

証券コード：8410

■ 社長メッセージ



セブン銀行



代表取締役社長 **二子石 謙輔**

はじめに

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

「セブン・イレブンにATMがあったら便利なのに…」というお客様の声をふまえて誕生したセブン銀行は、2001年の開業以来「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービスの提供に努めてまいりました。おかげさまで2017年9月末には、国内ATM設置台数が23,000台を超え、1日約220万人のお客様にご利用いただく、生活に無くてはならない社会インフラの一つへと成長いたしました。

私たちは、時代と共に変化するお客様のニーズに的確にお応えし、社会に必要とされる存在であり続けることが重要だと考えております。これからも常に信頼される銀行であることを目指し、すべてのお客様にとって

安心・安全な金融サービスをお届けすることに誠実に取り組んでまいります。

中長期的な課題への取り組み

当社を取り巻く事業環境は、IT技術の進化等により、かつてないスピードで変化しております。このような状況のなか当社が持続的に成長するためには収益構造に厚みを持たせることが重要な課題であると認識しており、その解決に向け、長期的な成長のための基盤づくりの期間と位置づけた中期経営計画（2017年度-2019年度）を開始いたしました。

本中期経営計画の柱となる以下の3事業は、いずれも計画に沿った施策を推進し、成果を出しつつあります。

ATMプラットフォーム事業では、当社のATMインフラをプラットフォームと位置づけ、ご利用されるお客さまを

増やすための施策を展開しております。堅実なATM設置台数の拡大を継続する一方、技術革新の成果を積極的に取り入れることで、従来の概念にとらわれない新しいATM利用スタイルの創造に取り組んでおります。当中間期では、スマートフォンで入金取引きが行える「スマートフォンATM取引サービス」の拡大に取り組んだほか、新たに決済分野へ参入した事業会社との提携などにより、当社ATMサービスの拡充に努めました。

決済口座事業では、既存サービスの利便性向上・収益力強化に加え、セブン&アイグループの店舗に来店されるお客さまに、多彩な業態を有する総合流通グループとしての強みを活かした新しい金融サービスを提供するための取り組みを進めております。

海外事業では、米国子会社FCTIIによる米国セブン・イレブン店舗へのATM設置を2017年8月より開始しました。

来春には米国約8,000店舗への設置を完了する見込みです。

このような取り組みを通じ、当中間期の当社連結業績は、経常収益622億円、経常利益198億円と増収増益を達成することができました。

株主の皆さまからのご支援にお応えして

当中間期の配当は、期初の時点で増配をお示した通り、1株当たり4円75銭とさせていただきます。これからも社会課題の解決と企業の成長を両立させる方針のもと、中期経営計画に基づいた成長戦略を展開し、将来にわたる着実な成長とともに配当額を安定的に増加させ続けることで、株主の皆さまの期待に応えてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社 是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章 (項目のみ抜粋)

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

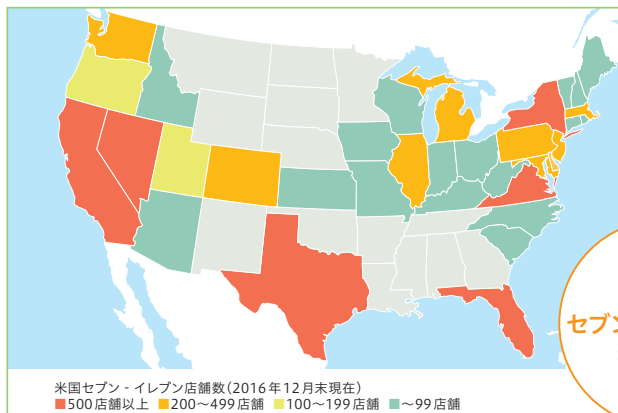
米国セブン-イレブン店舗への ATM展開を開始

米国子会社FCTIは、米国に約8,000あるセブン-イレブン店舗へのATM設置を、2017年8月より開始しました。設置が完了すると、FCTIが運営するATMは12,000台以上となる予定です。まずは米国セブン-イレブン店舗への着実な設置と安定稼働に努めます。

米国では様々な決済手段が普及していますが、現金に対するお客さまのニーズには根強いものがあります。より多くのお客さまにFCTIのATMをお使いいただけるよう、米国セブン-イレブンとのシナジー効果を追求しつつ、新しいサービスの開発にも取り組んでまいります。



米国セブン-イレブン店舗内に設置しているATM



各地の
セブン-イレブンに
続々設置

多様な人材が働きやすい環境づくり を推進し、「えるぼし」企業に認定

「女性活躍推進法」に基づき、厚生労働大臣から女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業として認定を受け、認定マーク「えるぼし」を取得しました。当社は、5つの評価項目すべてにおいて認定基準を満たし、最高位である3段階目の認定を受けました。

これからも、従業員が様々な働き方をしながら活躍できる環境の整備に一層取り組んでまいります。

評価項目

採用	: 採用における男女別の競争倍率が同程度
継続就業	: 女性の平均勤続年数が男性の7割以上
労働時間	: 月間の時間外労働時間が平均45時間以内
管理職比率	: 管理職に占める女性の割合が業界平均以上
多様なキャリア制度	: 社員転換等の制度整備



ESG投資の運用株価指数に選定

2017年7月、公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は、環境や企業統治を重視した企業を対象とするESG投資のため、3つの新株価指数を選定しました。その3つの指針のうち、当社は「MSCI 日本株女性活躍指数」に選定されました。

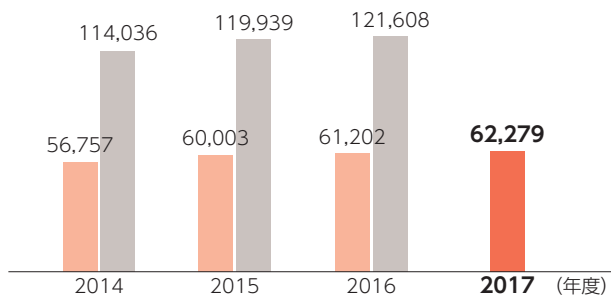
※ESG投資：環境(Enviroment)、社会(Social)、企業統治(Governance)に対する企業の取り組みを考慮して行われる投資

業績ハイライト

収益性 経常収益(連結)

(単位：百万円)

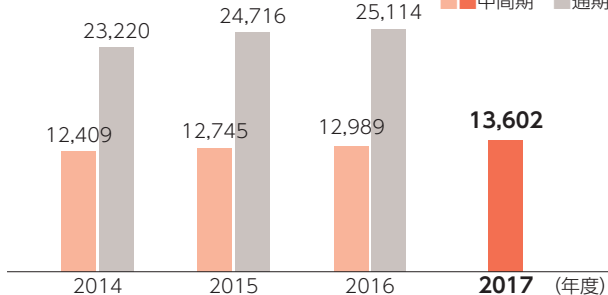
■ 中間期 ■ 通期



収益性 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益(連結)

(単位：百万円)

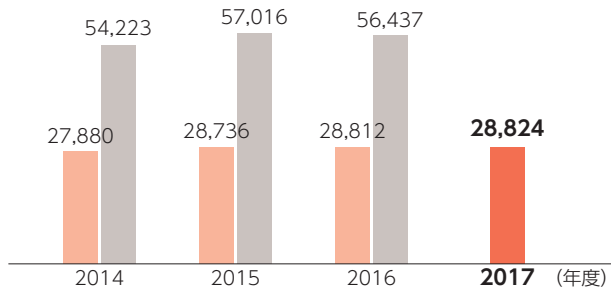
■ 中間期 ■ 通期



収益性 EBITDA(連結)

(単位：百万円)

■ 中間期 ■ 通期

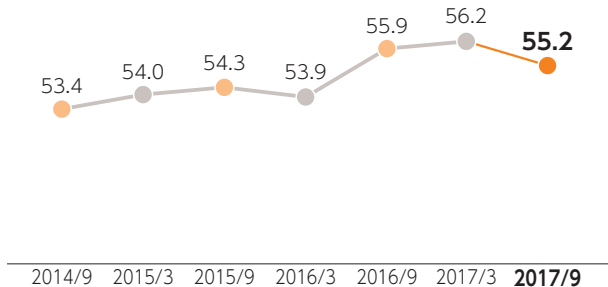


* EBITDA = 経常利益 + 減価償却費

健全性 単体自己資本比率(国内基準)

(単位：%)

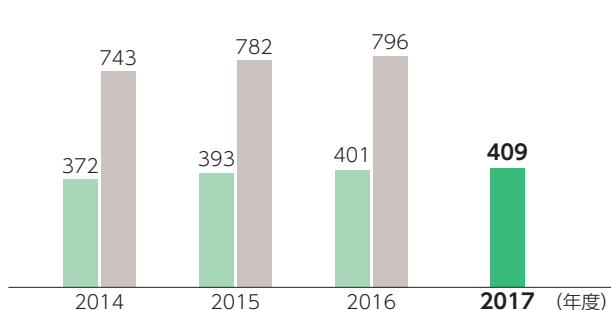
● 中間期末 ● 年度末



事業規模 ATM利用件数の推移(単体)

(単位：百万件)

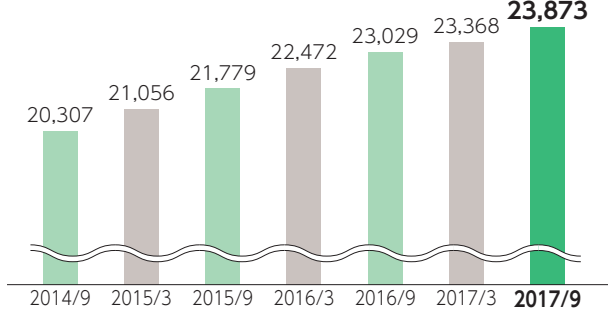
■ 中間期 ■ 通期



事業規模 ATM設置台数の推移(単体)

(単位：台)

■ 中間期末 ■ 年度末



■ 連結財務諸表

■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2016年度末 (2017年3月31日)	2017年度 中間期末 (2017年9月30日)
資産の部		
現金預け金	694,588	674,327
有価証券	77,866	68,549
貸出金	19,829	22,078
外国為替	-	0
ATM仮払金	89,286	147,594
その他資産	15,064	16,664
有形固定資産	25,740	23,314
無形固定資産	34,473	34,786
退職給付に係る資産	183	216
繰延税金資産	790	889
貸倒引当金	△30	△32
資産の部合計	957,792	988,390
負債の部		
預金	571,510	614,980
譲渡性預金	800	1,190
コールマネー	10,000	-
借入金	10,000	10,000
社債	110,000	80,000
ATM仮受金	37,763	56,773
その他負債	16,992	18,385
賞与引当金	471	424
退職給付に係る負債	1	1
役員退職慰労引当金	-	0
株式給付引当金	-	50
繰延税金負債	1,170	733
負債の部合計	758,710	782,540
純資産の部		
資本金	30,572	30,572
資本剰余金	30,554	30,554
利益剰余金	132,093	140,036
自己株式	△0	△380
株主資本合計	193,221	200,784
その他有価証券評価差額金	217	320
為替換算調整勘定	5,012	4,109
退職給付に係る調整累計額	73	81
その他の包括利益累計額合計	5,303	4,511
新株予約権	533	533
非支配株主持分	22	21
純資産の部合計	199,081	205,850
負債及び純資産の部合計	957,792	988,390

■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2016年度中間期 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	2017年度中間期 (自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日)
経常収益	61,202	62,279
資金運用収益	1,369	1,652
（うち貸出金利息）	1,291	1,591
（うち有価証券利息配当金）	18	10
役務取引等収益	59,597	60,480
（うちATM受入手数料）	56,588	57,302
その他業務収益	119	125
その他経常収益	114	20
経常費用	42,091	42,381
資金調達費用	501	351
（うち預金利息）	184	89
役務取引等費用	11,577	12,038
（うちATM設置支払手数料）	9,408	9,619
（うちATM支払手数料）	774	849
営業経費	29,940	29,962
その他経常費用	72	29
経常利益	19,110	19,898
特別損失	110	83
固定資産処分損	110	83
税金等調整前中間純利益	19,000	19,814
法人税、住民税及び事業税	6,089	6,755
法人税等調整額	△77	△542
法人税等合計	6,011	6,213
中間純利益	12,989	13,601
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	12,989	13,602

会社概要 (2017年9月末現在)

- 名称 株式会社セブン銀行
(英名: Seven Bank, Ltd.)
- 本社所在地 東京都千代田区丸の内1-6-1
- 設立 2001年4月10日
- 開業 2001年5月7日
- 資本金 30,572百万円
- 発行済株式数 1,191,528千株
- 従業員数 466人
(役員、執行役員、パート社員、派遣スタッフを除く)

連結子会社

- **FCTI, Inc.** (アメリカ合衆国)
事業内容: ATMサービス
- **FCTI Canada, Inc.** (カナダ)
事業内容: ATMサービス
- **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)
事業内容: ATMサービス
- **株式会社バンク・ビジネスファクトリー** (日本)
事業内容: 事務受託サービス

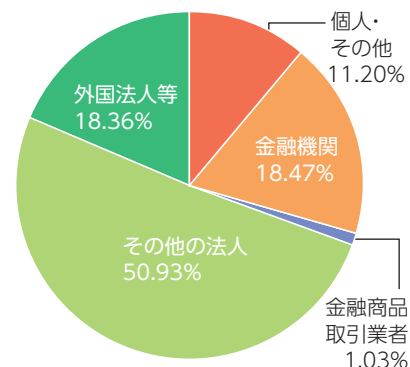
大株主の状況 (2017年9月末現在)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639千株	38.07%
株式会社イトーヨーカ堂	46,961千株	3.94%
株式会社ヨークベニマル	45,000千株	3.77%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	30,829千株	2.58%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,510千株	2.47%
BBH FOR MATTHEWS ASIA DIVIDEND FUND	23,009千株	1.93%
株式会社三井住友銀行	15,000千株	1.25%
第一生命保険株式会社	15,000千株	1.25%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	13,969千株	1.17%
JP MORGAN CHASE BANK 385174	12,398千株	1.04%

※1 所有株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株主構成 (2017年9月末現在)



※小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

当社WEBサイト のご案内



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、
IRに関するお知らせなどがご覧いただけます。

<http://www.sevenbank.co.jp/ir/>

